

こどもの教育環境とまちづくりを考えるための住民説明会を開催しました

足助地区の現状や豊田市が目指すこれからの教育環境を踏まえ、学校再編やまちづくりについて考えるための住民説明会を開催しました。

当日は214名の方にお越しいただきましたが、都合がつかない方もいると思いますので、「足助地区まちづくりNEWS かわら版」として、どのような説明があったのか、概要をお知らせします。

◆住民説明会の概要

開催日時	2026年7月18日(土) 10:30-11:40、13:30-14:40 午前・午後の二部制（内容は同じ）
会場	足助交流館 飯盛座
内容	- 現状と課題 - 目指す教育の姿 - 学校再編の方向性 - 今後の進め方 - 質疑応答

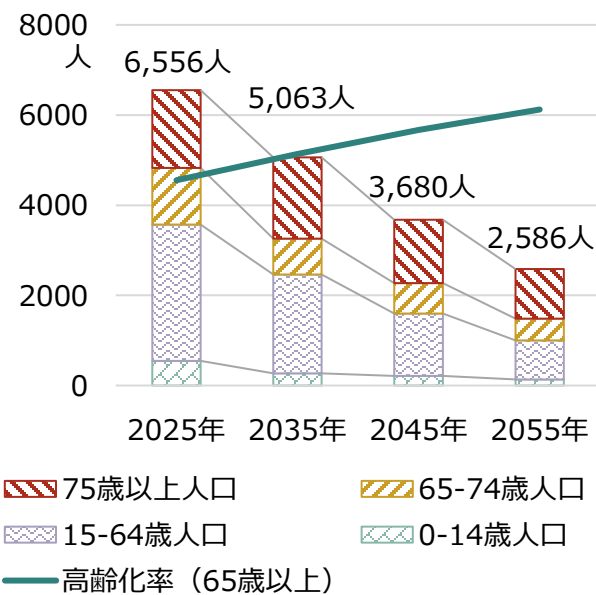


①人口減少・少子高齢化が加速しています

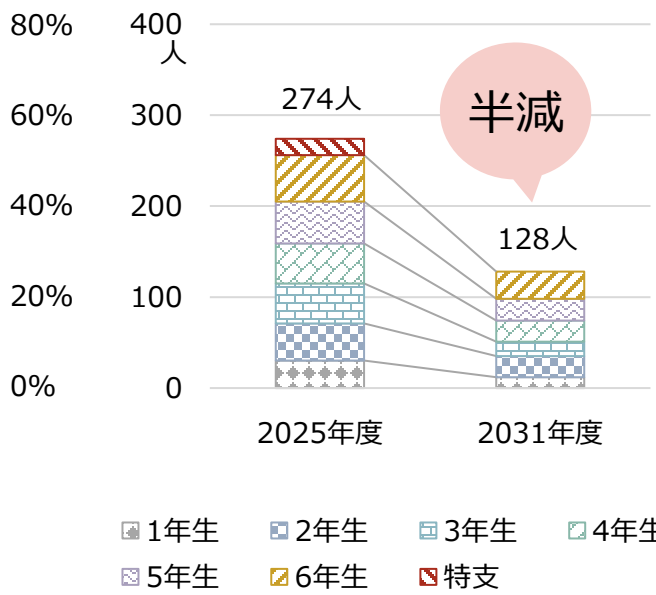
山村地域では人口減少と少子高齢化が進行しています。足助地区においても、10年前には8,000人を超えていた人口が、今年4月に6,500人を割りました。

また、こどもの数は、昨年度時点で274人でしたが、6年後には半減することが想定されています。

◆現在の人口と将来予測



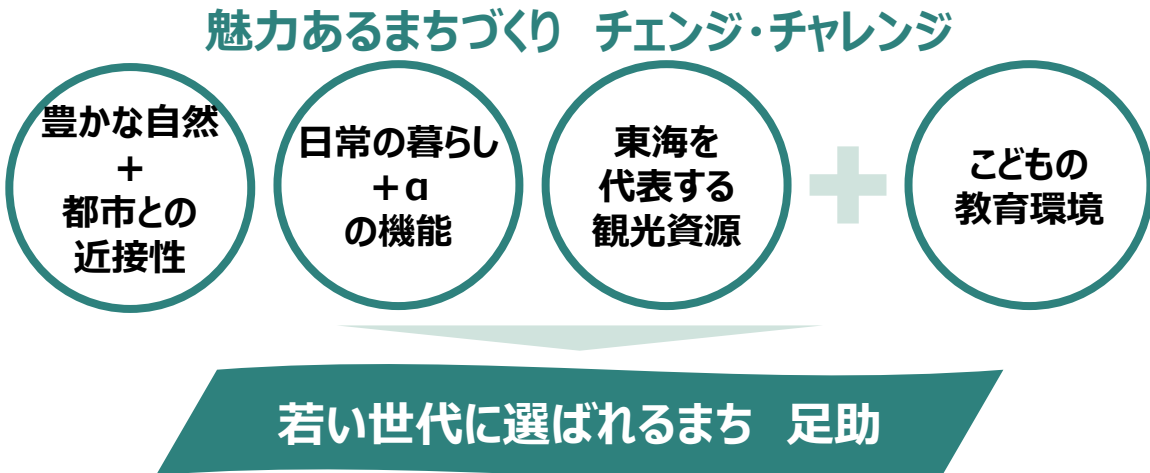
◆現在の児童数と将来予測



②こどもの教育環境とまちづくりを両輪で考えていくことで若い世代に選ばれるまちを目指します

将来に渡るこどもの数の減少の見通しもあり、これからのこどもの教育環境を考えていく必要があります。同様に、人口の減少を食い止めるためには、子育て世代に住んでもらう、住み続けてもらうことが重要です。

足助地区がもともと持っている強みを生かしながら、こどもの教育環境とまちづくりを両輪で考えていくことで、若い世代に選ばれるまちを目指します。



③こどもの教育環境の向上を中心に据えた 学校再編の検討を進めます

少子化、人口減少に伴う課題を踏まえ、山村地域における学校再編に当たっては、こどもの教育環境の向上を中心に据えるとともに、将来を担う子どもたちが安心して住み続けられる地域社会の維持・発展も視野に入れながら、持続可能な地域づくりにつなげるよう、基本となる考え方を整理した「山村地域の学校再編基本方針」を令和8年7月に策定しました。この考え方にもとづいて、足助地区において学校再編を検討します。

◆山村地域の学校再編基本方針

- 1 連続性、系統性を生かした先進的な教育の推進
- 2 地域とのつながりや郷土への愛着を育む
山村ならではの学びの創出
- 3 まちづくりとの一体的な検討による地域の活性化

④こどもの教育環境の検討と並行して 「まちづくりの総合的な取組」を進めます

足助地区では、教育環境の検討と並行して、「こどもが地域と共に育つ環境づくり」「生活利便性の向上」「定住・創業の支援強化」を柱としたまちづくりの総合的な取組を進めます。

◆まちづくりの総合的な取組

こどもが地域とともに
育つ環境づくり

こどもも大人も一緒に成長し、住み続けたく
なる環境をつくる

生活利便性
の向上

暮らしに必要なサービスをまとめ直し、生活
を便利にする次の世代が住みたくなるような、
新しい魅力をもつ地域の拠点をつくる

定住・創業
の支援強化

一時的な来訪から定着・定住へつなげる

⑤こどもの教育環境とまちづくりに関する今後について

◆教育環境について

今後、学校再編の方針（再編の内容やスケジュール等）をまとめた「足助地区学校再編構想」を市が策定する予定です。

学校再編構想は、住民説明会、住民ワークショップなどを行い、様々な場でご意見を伺いながらまとめます。

また、かわら版（広報紙）を作成し、進捗状況をお伝えします。

◆まちづくりについて

住民ワークショップなどのご意見も取り入れながら、「若い世代に選ばれるまち」の実現に向けて、まちづくりに関する総合的な取組を進めます。

今後も足助地区まちづくりNEWSかわら版や市ホームページで検討状況をお伝えしていきます

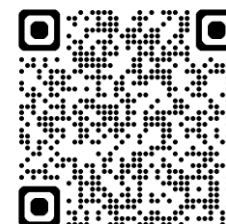
住民説明会の資料や、質疑応答の内容は、豊田市のホームページに掲載されています。
また、今後も足助地区まちづくりNEWSとして、かわら版を発行して検討状況をお伝えしていきます。

■教育環境について

教育政策課 0565-34-6658
kyouiku@city.toyota.aichi.jp

■まちづくりについて

足助支所 0565-62-0601
asuke-shisho@city.toyota.aichi.jp



<https://www.city.toyota.aichi.jp/shisei/jichiku/1008649/1013511/1078658.html>